



Capacity Pools ライセンス モデル

ONTAP Select

NetApp
May 07, 2026

目次

Capacity Poolsライセンス モデル	1
ONTAP Select Capacity Poolsライセンス モデルの運用の詳細	1
ライセンス マネージャ	1
リース契約の特徴	1
ライセンス ロック ID	1
基本的なリース操作	2
ストレージ容量を容量プールに戻す	2
ONTAP Select Capacity Pools ライセンス モデルのノードのシリアル番号	2
ONTAP Select Capacity Pools ライセンスの導入制限	3
ONTAP Selectキャパシティプールライセンスの特典の概要	4
ストレージ容量のより効率的な利用	4
管理オーバーヘッドが大幅に削減され、コストが削減される	4
使用状況指標の改善	4

Capacity Pools ライセンス モデル

ONTAP Select Capacity Pools ライセンス モデルの運用の詳細

Capacity Pools ライセンス モデルは、Capacity Tiers モデルとは異なります。各ノードに個別のストレージ容量を割り当てておくのではなく、ストレージ容量はプールに割り当てられ、複数のノード間で共有されます。Capacity Pools モデルをサポートするために、追加のコンポーネントとプロセスが作成されました。

ライセンス マネージャ

ライセンス マネージャは、Deploy 管理ユーティリティの各インスタンス内で独立したプロセスとして実行されます。LM が提供する機能には以下のようなものがあります：

- 容量プールライセンスのシリアル番号に基づいて、各ノードに固有の20桁のシリアル番号を生成します
- ONTAP Select ノードからのリクエストに基づいて、共有容量プールから容量のリースを作成します
- Deploy ユーザー インターフェイスを通じてプール使用状況情報をレポートします

リース契約の特徴

容量プールライセンスを使用するノードのすべてのデータ アグリゲートに割り当てられたストレージには、関連付けられたリースが必要です。ノードがストレージのリースを要求し、容量が利用可能な場合、ライセンス マネージャはリースで応答します。各リースには、次の明示的または暗黙的な属性があります：

- ライセンス マネージャ

すべてのONTAP Selectノードは1つのLicense Managerインスタンスに関連付けられています

- Capacity Pool

すべての ONTAP Select ノードは 1 つのキャパシティ プールに関連付けられています

- ストレージ割り当て

リースでは特定の容量値が割り当てられます

- 有効期限日時

リースの期間は、ユーザー設定に応じて 1 時間から 7 日間になります。

ライセンス ロック ID

License Managerの各インスタンス、および対応する各Deployユーティリティ インスタンスは、一意の128-bitの番号で識別されます。この番号は、9桁のCapacity Poolライセンス シリアル番号と組み合わせられ、プールを特定のLicense Managerインスタンス（実質的にはDeployインスタンス）にロックします。NetApp License File (NLF) を生成する手順の一環として、NetApp Support Siteで両方の値を提供する必要があります。

Deploy インスタンスのライセンス ロック ID は、Web ユーザー インターフェイスを使用して次の方法で確認で

きます。

- スタートガイド ページ

Deploy に初めてサインインすると、このページが表示されます。ページ右上のドロップダウンボックスを開き、**Getting Started** を選択してこのページを表示することもできます。LLID は「ライセンスの追加」セクションに表示されます。

- ページ上部の*管理*タブを選択し、*システムとAutoSupport*を選択します。

基本的なリース操作

ONTAP Selectノードは、データ アグリゲートが作成、拡張、または変更されるたびに、有効な容量リースを検索または要求する必要があります。以前の要求で取得した有効なリースを使用することも、必要に応じて新しいリースを要求することもできます。ONTAP Selectノードは、容量プールリースを検索するために、以下の手順を実行します：

1. ノードに既存のリースが存在する場合、以下のすべての条件が満たされている限り、そのリースが使用されます：
 - リースの有効期限が切れていません
 - アグリゲートのストレージ要求がリース容量を超えていない
2. 既存のリースが見つからない場合、ノードはライセンス マネージャに新しいリースを要求します。

ストレージ容量を容量プールに戻す

ストレージ容量は必要に応じて容量プールから割り当てられ、新しいリクエストが発生するたびに、プール内の利用可能なストレージ容量が減少する可能性があります。ストレージ容量は、以下のようないくつかの状況でプールに戻されます：

- データ アグリゲートのリースの有効期限が切れ、ノードによって更新されない
- データ アグリゲートが削除されました



ONTAP Select仮想マシンが削除された場合、アクティブなリースは期限が切れるまで有効なままです。この場合、容量はプールに戻されます。

ONTAP Select Capacity Pools ライセンス モデルのノードのシリアル番号

容量階層ライセンス モデルでは、9桁のノードシリアル番号は、ノードに割り当てられたライセンスシリアル番号と同じです。ただし、容量プールライセンス モデルを使用するノードに割り当てられたシリアル番号は異なる形式になっています。

Capacity Pools ライセンスを使用するノードのシリアル番号の形式は次のとおりです：

999 pppppppppp nnnnnnnn



スペースは分かりやすくするために追加されていますが、実際のシリアル番号の一部ではありません。

次の表では、ノード シリアル番号の各セクションを左から右に説明します。

セクション	説明
「999」	NetAppによって予約されている3桁の固定値。
ppppppppp	NetAppによって容量プールに割り当てられた可変の9桁のライセンスシリアル番号
nnnnnnnnn	容量プールを使用する各ノードに対して License Manager によって生成される可変 8 桁値



NetApp サポートに容量プールライセンスを使用するノードに関するケースを開く場合は、9桁の容量プールライセンスのシリアル番号を提供する必要があります。20桁のノード シリアル番号全体を提供することはできません。ノード シリアル番号の最初の3桁（「999」）をスキップし、次の9桁（ppppppppp）を抽出することで、ノード シリアル番号からライセンス シリアル番号を導き出すことができます。

ONTAP Select Capacity Pools ライセンスの導入制限

キャパシティプールライセンス モデルを使用する際に適用される制限事項を以下に示します。

クラスタごとに一貫したライセンス モデル

単一の ONTAP Select クラスタ内のすべてのノードは、容量階層または容量プールのいずれかの同じライセンス モデルを使用する必要があります。単一のクラスタ内のノードに対して、異なるライセンスタイプを混在させることはできません。

クラスター内のすべてのノードは同じ License Manager インスタンスを使用します

ONTAP Select クラスタの Capacity Pool ライセンスを使用するすべてのノードで、同じ License Manager インスタンスを使用する必要があります。各 Deploy インスタンス内に License Manager インスタンスが1つあるため、この制限は、同じ Deploy インスタンスでクラスタ内のすべてのノードを管理する必要があるという既存の要件を言い換えたものです。

ノードごとに 1 つの容量プール

各ノードは、1つの容量プールからのみストレージをリースできます。ノードは2つ以上のプールを使用することはできません。

HA ペア内のノードに同じプールを使用

単一の HA ペアを構成する両方のノードは、同じ容量プールからストレージをリースする必要があります。ただし、同じクラスター内の異なる HA ペアは、同じライセンスマネージャーによって管理される異なるプールからストレージをリースすることができます。

ストレージ ライセンスの有効期間

NetApp からストレージライセンスを取得する際には、ライセンス期間を選択する必要があります。たとえば、ライセンスの有効期間は1年間です。

データ アグリゲート リース期間

ONTAP Select ノードがデータ アグリゲートのストレージリースを要求すると、License Manager

は、Capacity Poolの構成に基づいて、特定の期間のリースを提供します。各プールのリース期間は、1時間から7日間の間で設定できます。デフォルトのリース期間は24時間です。

Deployに割り当てられた静的IPアドレス

Capacity Pools ライセンスを使用する場合は、Deploy 管理ユーティリティに静的 IP アドレスを割り当てる必要があります。

ONTAP Selectキャパシティプールライセンスの特典の概要

Capacity Tiers ライセンス モデルの代わりに Capacity Pools ライセンス モデルを使用すると、いくつかの利点があります。

ストレージ容量のより効率的な利用

容量階層ライセンスを使用する場合は、各ノードに固定のストレージ容量を割り当てます。未使用のスペースは他のノードと共有できないため、事実上無駄になります。Capacity Poolsライセンスでは、各ノードはデータアグリゲートのサイズに基づいて、必要な容量のみを消費します。

容量は中央プールに固定され、組織内の多数のノード間で共有できます。

管理オーバーヘッドが大幅に削減され、コストが削減される

容量階層ライセンスを使用する場合は、ノードごとにライセンスを取得してインストールする必要があります。キャパシティプールを使用する場合は、共有プールごとに1つのライセンスが必要です。これにより、管理上のオーバーヘッドを大幅に削減でき、結果としてコスト削減につながります。

使用状況指標の改善

Deploy Web ユーザーインターフェイスは、Capacity Pool の使用状況に関する詳細な情報を提供します。Capacity Pool で使用されているストレージ容量と利用可能なストレージ容量、どのノードがプールからストレージを使用しているか、クラスタがどのプールから容量を割り当てているかを迅速に把握できます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。